

今年度の締めくくりとなる3学期終業式を迎えました。3週間前に卒業式があり3年生を送り出し、今日は先生方の離任式を行います。学校にいろんな形で貢献してくれた先輩や教職員の皆さんが本校を去ったあと、残された私たちは何をすべきか……。それは、学校をよくすること、自己を高めることだと思います。それが、立ち去った皆さんへの最大の恩返しだと思います。

本年度は、「自立 協働」「夢 努力 感動」というスローガンを掲げ、それぞれの状況の中で取り組んでもらいました。「自立 協働」については、ことあるごとに話して来ましたので今日は「夢 努力 感動」の一部について話をします。一部というのは夢と努力に関わることだからです。

皆さんは、「夢」と「努力」の間に言葉を入れるとしたらどんな言葉を入れますか。漢字二字で答えを教えてください。正解はありませんし、人それぞれでよいと思います。私は「計画」という二字を入れたいと思います。「夢」は「目標」に置き換えて考えてもよいと思います。夢を語るだけでは夢物語で終わってしまいます。闇雲に努力するだけでは目標に達成しかねます。また効率が悪いと言わざるをえません。夢（目標）を達成するために計画を立てそれに基づいて努力する、これが必要だということです。

例えば、明日、出雲市駅を出発し午後2時前に東京駅に着きたいとします。どんなふう計画を立てますか。今では、スマートフォンで適当に出発駅の発車時間を決め検索すれば東京駅に午後2時までに着くかどうか分かります。間に合わなければ出発時間を早めて繰り返せばよいのです。でも現実の世界の中では目標達成のための検索はできません。ではどうすればよいか。時刻表を用いて調べる方法を例にして説明しましょう。

- 午後2時前に東京駅に着く新幹線の列車を調べる
- その列車は何時に岡山を出発するか
- その列車に乗り継ぐための特急列車は岡山駅に何時に着くか
- その特急列車は出雲市駅を何時に出発するか
- 自分は何時に起きて準備をすればよいか

このような計画の立て方を「バックワードデザイン」といいます。目標から逆戻りしながら、いつまでに何を達成すればよいか、今何をすべきかを決める方法です。実際の社会の中では、常識的な計画の立て方です。目標があるなら、いつまでにどういうステップを踏んで目標に近づいていくかという大まかな計画があるのが望ましいと思います。もちろん計画通り行かないことも多いと思います。計画は目安です。中間地点では計画と現実の差を確認し、計画を修正しながら努力していくことが必要です。

1年生は1年間の、2年生は2年間の高校生活が終わりました。それぞれに学び終えたことがあります。4月からは、また新しいことを学びますが今まで学んで来たことがベースにもなります。1年間あるいは2年間学んだことが消化不良の部分があれば、それも加味した学びの計画が必要ではないでしょうか。学校での学びを自分の学習計画に位置付け、卒業する時に目標達成の自覚を持って卒業してほしいと思います。この春休み各自で考えてもらいたいことです。過去と未来を見つめ直し、皆さんが新たな年度を新鮮な気持ちで迎え、滑らかにスタートできることを願っています。

平成30年3月23日

島根県立大社高等学校
校長 吉田 彰二